

第55回全国農業コンクール全国大会で藤原儀英氏がグランプリ受賞

第55回全国農業コンクール全国大会(毎日新聞社・愛媛県主催)が、7月20日、愛媛県松山市の愛媛県民文化会館を会場に開催され、(有)藤原養鶏場代表取締役藤原儀英氏が出場しました。

この全国農業コンクールは、種芸・養蚕、園芸、畜産、複合、生活の5部門があり、各都道府県を通じて推薦され、中央審査委員会で全国20代表が書類選考で選ばれます。その20人が、12分の時間内で活動の実績を発表し審査が行われます。

藤原氏は畜産部門で出場し、「時代を先取りした養鶏経営をデザイン、そして地域と共に生きる～北東北発、養鶏のスタンダードを目指して～」というタイトルで、養鶏を始めたころの施設の建設費や飼料の調達、卵の販路などの苦悩、具体的な目標数値の設定など、2,000羽で始めた養鶏場が35万羽に達するまでの実績発表をしました。

審査の結果、藤原氏は名誉賞10人に選ばれ、さらに名誉賞から選出されるグランプリ「毎日農業大賞」に輝きました。



グランプリ受賞の報告に訪れた藤原氏

第1回大仙・仙北・美郷畜産共進会、畜産まつり



など楽しい催しがありました。翌30日には、畜産まつりが開催され、和牛バーベキューや野菜やくだものなどの特産物の販売が行われ、買い求めるたくさんの人で賑わいました。

畜産技術の向上と消費者に安全性や美味しさをPRするため、第1回大仙・仙北・美郷畜産共進会が7月29日、大仙市の大曲家畜市場で開催され、肉用牛94頭、乳用牛7頭、肥育牛18頭、家禽・家兎50羽が出品されました。

仙北市からは、肉用牛36頭、肥育牛3頭が出品され、審査の結果、肉用牛の部で8頭が優等賞を、6頭が1等賞を受賞したほか、肥育牛の部で1頭が1等賞を受賞しました。また、総合では大仙市中仙に次いで、仙北市角館町が準優勝の好成績を収めました。

また、附帯行事として飼料展示即売会や家畜評価コンクール、肉用牛体重推定コンクール、入賞予想投票

安全狩猟射撃大会 開催される

8月14日、安全狩猟射撃大会が開催され、17人が参加しました。

成績は、次のとおりです。(敬称略)

- | | | |
|----|-----|------|
| 1位 | 26点 | 大友勲夫 |
| 2位 | 25点 | 酒出智輝 |
| 3位 | 23点 | 大石 治 |
| 4位 | 22点 | 崔 竜根 |
| 5位 | 21点 | 近間好作 |

(上位5位まで、点数は30点満点)

仙北市内優等賞受賞者(敬称略)

- | | | |
|-----|-----|---------------------------------|
| 肉用牛 | 第1類 | 大石 徹治(第26きたざくら) |
| | 第6類 | 辻谷 隆弘
(うちやま243、第19うちやま、ふくよし) |
| | 第7類 | 鈴木 昇(すずくら1) |
| | | 高橋 芳弘(ひらたかよし) |
| | | 菅原 孝作(そのだ6) |
| | | 鎌田義太郎(たかゆう) |